



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **03033976 A**(43) Date of publication of application: **14.02.91**

(51) Int. Cl.

G06F 15/30
G06F 15/00
(21) Application number: **01168966**(22) Date of filing: **29.06.89**(71) Applicant: **CHUBU NIPPON DENKI
SOFTWARE KK**(72) Inventor: **MIYASHITA KENKICHI**
**(54) PREVENTING SYSTEM FOR ILLEGAL
CONNECTION OF TERMINAL EQUIPMENT**

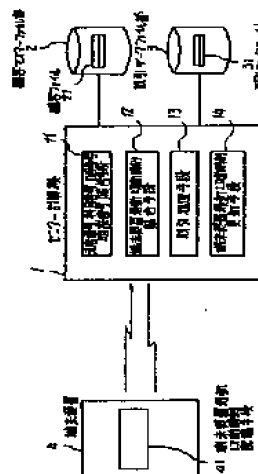
 processing is executed by a transaction processing
means 13.

(57) Abstract:

COPYRIGHT: (C)1991,JPO&Japio

PURPOSE: To prevent illegal connection may be executed by the third person between a terminal equipment and a center computer by collating updated interruption time data, which are sent when the terminal is connected, with updated interruption time data stored in the customer master file in the center computer.

CONSTITUTION: For a transaction telegraphic message, the number of a branch office, account number and identification number, which are inputted by a user in a terminal equipment 4, and the updated interruption time data, which are automatically read from a terminal equipment updated interruption time means 41, are set and this telegraphic message is sent to a center electronic computer 1. In the center electronic computer 1, the data sent from the terminal equipment 4 are collated with the data, which are read from a customer file 21, by a collating means 11. When the both data are coincident, processing is moved to a collating means 12 and the updated interruption data are collated with the updated interruption time data in the customer master file. When the both data are coincident, transaction



⑫ 公開特許公報(A) 平3-33976

⑬ Int.Cl.⁵G 06 F 15/30
15/00

識別記号

3 3 0
3 3 0 C

庁内整理番号

6798-5B
7218-5B

⑭ 公開 平成3年(1991)2月14日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 端末装置不正接続防止方式

⑯ 特 願 平1-168966

⑰ 出 願 平1(1989)6月29日

⑱ 発 明 者 宮 下 兼 吉 愛知県名古屋市中区新栄2丁目28番22号 中部日本電気ソ
フトウェア株式会社内

⑲ 出 願 人 中部日本電気ソフトウ エア株式会社 愛知県名古屋市中区新栄2丁目28番22号

⑳ 代 理 人 弁理士 内 原 晋

明 細 書

発明の名称

端末装置不正接続防止方式

特許請求の範囲

顧客と取引関係を規定したオンラインシステムにおいて、顧客の端末装置より取引電文の中にセットされセンター電子計算機に送られてきた端末装置最新切断時刻データと、前記端末装置に該当する顧客マスターファイル部に記憶されている前記端末装置の最新切断時刻データとを比較する端末装置最新切断時刻照合手段と、前記端末装置最新切断時刻照合手段で前記端末装置が該当する正しい端末と判断され、取引処理が実行された後に前記端末装置と顧客マスターファイル部の両方の最新切断時刻データをセットさせる最新切断時刻更新手段とを備えて成ることを特徴とする端末装置不正接続防止方式。

発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は端末装置不正接続防止方式に関し、特に銀行のセンター電子計算機とその銀行と取引関係で規定した顧客の端末装置とを接続し取引処理を行うオンラインシステムで第三者の端末装置からの不正接続を防止するための端末装置接続方式に関する。

(従来技術)

従来、この種の端末装置不正接続防止方式では、端末装置を銀行のセンター電子計算機に接続してよいかの判断は、端末装置から利用者によって入力される銀行の支店番号・科目番号・口座番号・暗証番号と、予め契約時にセンター電子計算機に記憶させておいた支店番号・科目番号・口座番号・暗証番号とを照合することにより行われていたため、第三者が取引規定以外の端末装置を使って入力データを正しく入れるとセンター電子計算機と接続することができるものとなっていた。

(発明が解決しようとする課題)

上述した従来の端末装置不正接続防止方式では、取引関係のない第三者が何等かの方法で利用者の支店番号・科目番号・口座番号及び暗証番号を知ることにより取引関係で規定されていない端末装置を使って銀行のセンター計算機と不正接続することができるという欠点があった。特に公衆回線網では、不特定多数の端末装置を利用できるため、この欠点が顕著となっている。

(課題を解決するための手段)

本発明の端末装置不正接続防止方式は、顧客と取引関係を規定したオンラインシステムにおいて、顧客の端末装置より取引電文の中にセットされセンター電子計算機に送られてきた端末装置最新切断時刻データと、前記端末装置に該当する顧客マスターファイル部に記憶されている前記端末装置の最新切断時刻データとを比較する端末装置最新切断時刻照合手段と、前記端末装置最新切断時刻照合手段で前記端末装置が該当する正しい端末と判断され、取引処理が実行された後に前記端末装置と顧客マスターファイル部の両方の最新切

断した時に、顧客マスターファイルに格納された最新切断時刻データとを照合する端末装置最新切断時刻照合手段13と、ファームバンキング処理を行う取引処理手段13と、取引処理が終了した後端末装置を切断する時刻を端末装置及び顧客マスターファイル部に格納する端末装置最新切断時刻更新手段14とを含んで構成されている。

顧客マスターファイル部2は、外部記憶装置上に設けられていて、複数の顧客マスターファイル21が格納されている。

取引データファイル部3は、外部記憶装置上に設けられていて、複数の取引データファイル31が格納されている。端末装置4は、顧客が銀行に登録した端末所在地に設置されていてセンター電子計算機から送られてくる最新切断時刻データを自動的に格納したり、また格納した最新切断時刻データを端末装置とセンター電子計算機とを接続する時に自動的に読み出す端末装置最新切断時刻記憶手段41から構成されている。

次にこのように構成された本実施例のファーム

断時刻データをセットさせる最新切断時刻更新手段とを備えて構成される。

(実施例)

次に、本発明について図面を参照して詳細に説明する。

第1図は、本発明の一実施例の端末装置不正接続防止方式が適用されたファームバンキングシステムの構成を示すブロック図である。このファームバンキングシステムは、センター電子計算機1と顧客マスターファイル部2と取引データファイル部3と端末装置4とからその主要部が構成されている。

センター電子計算機1は、端末装置の利用者によって入力された銀行の支店番号・科目番号・口座番号・暗証番号と予め顧客マスターファイル部に登録されている銀行の支店番号・科目番号・口座番号・暗証番号とを照合する銀行の支店番号・科目番号・口座番号・暗証番号照合手段11と、端末装置から自動的に送られてくる端末装置最新切断時刻データと前回の取引処理後端末装置を切

バンキングシステム用の端末装置不正接続防止方式の動作について説明する。

端末装置4で、利用者により入力された支店番号・科目番号・口座番号・暗証番号と端末装置最新切断時刻記憶手段41より自動的に読み出された最新切断時刻データとをセットした取引電文が、センター電子計算機に送られる。センター電子計算機1では、支店番号・科目番号・口座番号・暗証番号照合手段11で端末装置4から送られてきたデータと、そのデータに該当する顧客マスターファイル21から読み出されたデータを照合し、合致していれば端末装置最新切断時刻照合手段12へ処理が移り、そこで同じように端末装置4から送られてきた端末装置最新切断時刻データと該当する顧客マスターファイル21に格納されている最新切断時刻データとを照合する。両方のデータが一致していれば、センター計算機は、契約している正しい端末装置と判断し、取引処理手段13により取引処理を行う。

取引処理が終了すると、端末装置最新切断時刻

更新手段14に処理が移り、今回の取引処理における端末装置最新切断時刻データを端末装置4へ送ると、同時に該当する顧客マスターファイル21の端末装置最新切断時刻エリアへ格納し、切断時刻データの更新を行う。端末装置切断時刻データを受けた端末装置4は、端末装置最新切断時刻記憶手段41にそのデータを格納する。

〔発明の効果〕

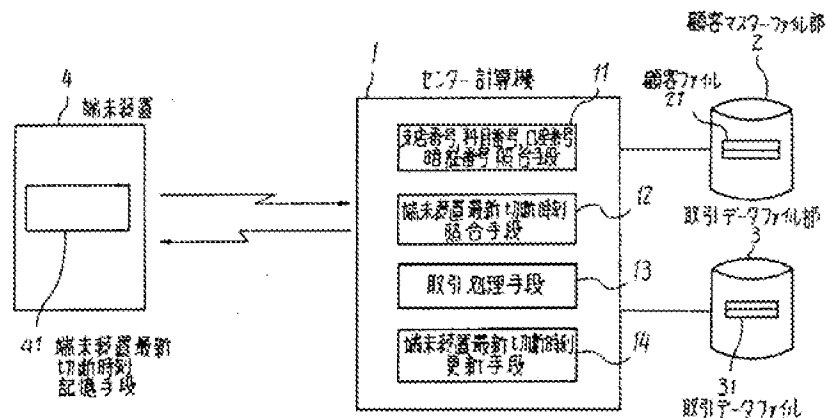
以上説明したように本発明は、端末装置中に最新切断時刻記憶手段を設け、端末切断時にセンター計算機より送られてくる最新切断時刻データを自動的に端末装置に格納させ、端末接続時に自動的に格納されている最新切断時刻データをセンター計算機に送り、これとセンター計算機で、該当する顧客マスターファイルに格納されている最新切断時刻データとを照合することにより、第三者に暗証番号等が漏れても、第三者の端末装置とセンター計算機との不正接続を防止できるという効果がある。

図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例の端末装置不正接続防止方式が適用されたファームバンキングシステムの構成を示すブロック図である。

1…センター電子計算機、2…顧客マスターファイル部、3…取引データファイル部、4…端末装置、11…支店番号・科目番号・口座番号・暗証番号照合手段、12…端末装置最新切断時刻照合手段、13…取引処理手段、14…端末装置最新切断時刻更新手段、21…顧客マスターファイル、31…取引データファイル、41…端末装置最新切断時刻記憶手段。

代理人 弁理士 内 原 晋



第 1 図